2026 年 11 月 5 日

各　位

会社名　ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社
（コード番号　4765）
（上場取引所　東京証券取引所　プライム市場）
代表者　代表取締役社長　朝倉 智也
開示責任者　常務執行役員 CFO　小笠原 靖行

運用資産残高の月次開示（2026 年 10 月末）

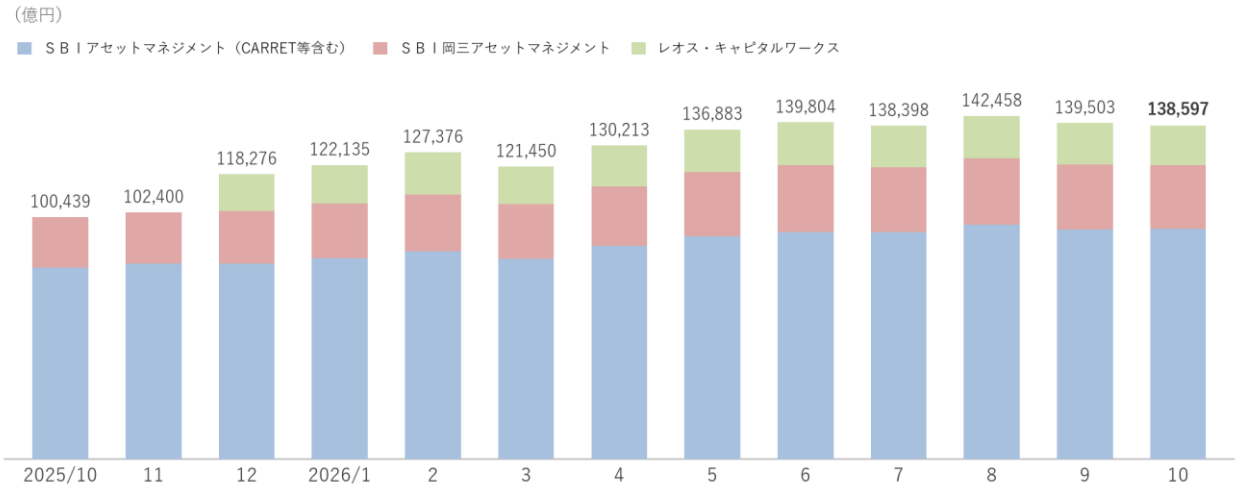
― 公募投信の資金純流入はグループで 70 か月、SBI アセットマネジメントで 87 か月連続、主要指数の調整局面でもグループ運用残高は 13 兆 8,597 億円 ―

当社グループの 2026 年 10 月末の連結運用資産残高は 13 兆 8,597 億円（前月末比▲0.8%、前年同月末比＋38.0%※1）となりました。減少の内訳は、資金純流入＋455 億円（うち公募投信＋673 億円）、市場要因▲1,398 億円になります。

１．グループ連結 運用資産残高（各月末・億円）

	25/10	25/11	25/12	26/1	26/2	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9	26/10
連結運用資産残高※2	100,439	102,400	118,276	122,135	127,376	121,450	130,213	136,883	139,804	138,398	142,458	139,651	138,597
前月末比	＋4.4%	＋2.0%	＋15.5%	＋3.3%	＋4.3%	▲4.7%	＋7.2%	＋5.1%	＋2.1%	▲1.0%	＋2.9%	▲2.0%	▲0.8%

＜連結運用資産残高の推移（運用会社別）＞



※1　前年同月末比は連結範囲の変更を含みます（2025 年 10 月末時点の連結運用資産残高には、レオス・キャピタルワークスを含んでおりません）。既存ベースの参考値として、ＳＢＩアセットマネジメントの前年同月末比は＋21.8%です。

※2　投資信託（公募・私募）、投資顧問、海外子会社（CARRET 等）を含むグループ全体の運用資産残高であり、２．の表の区分（投資信託／投資顧問・海外子会社等）とは異なります。なお、月次推移は各月末時点の連結範囲に基づき、ＳＢＩ岡三アセットマネジメントは 2025 年 9 月末（2025 年 9 月 11 日連結子会社化）から、レオス・キャピタルワークスは 2025 年 12 月末（2025 年 12 月 1 日吸収合併）から合算しています。

２．運用会社別 運用資産残高

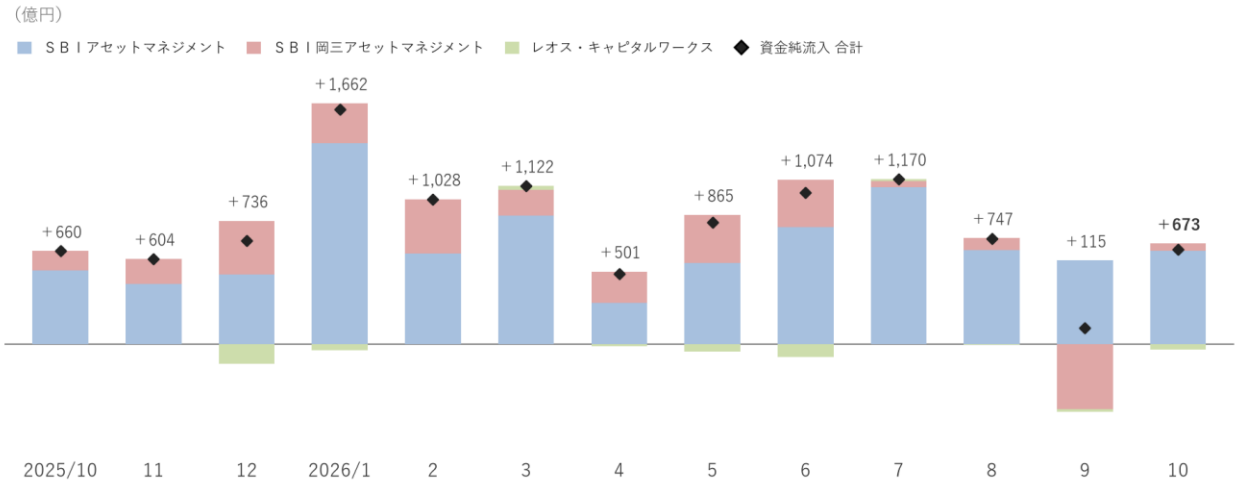
	9月末（億円）	10月末（億円）	前月末比	前年同月末比
投資信託	129,165	128,223	▲0.7%	＋19.7%
ＳＢＩアセットマネジメント	89,127	89,456	＋0.4%	＋21.8%
ＳＢＩ岡三アセットマネジメント	25,056	24,329	▲2.9%	＋21.0%
レオス・キャピタルワークス	14,982	14,438	▲3.6%	＋6.0%
投資顧問・海外子会社等※3	10,486	10,374	▲1.1%	＋20.2%
連結合計	139,651	138,597	▲0.8%	＋38.0%

※3　投資顧問・海外子会社等の10月末は、同日に最も近い時点で確定している数値の合計です。

３．増減の内訳（資金流入と市場要因の分解・各月中・億円）

	25/10	25/11	25/12	26/1	26/2	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8	26/9	26/10
資金純流入※4	＋2,103	＋654	▲276	＋1,863	＋1,290	＋1,209	▲296	＋1,187	＋1,532	＋1,389	＋932	▲120	＋455
うち公募投信※4	＋660	＋604	＋736	＋1,662	＋1,028	＋1,122	＋501	＋865	＋1,074	＋1,170	＋747	＋115	＋673
市場要因※4	＋3,843	＋1,125	＋1,036	＋1,838	＋3,481	▲7,086	＋8,527	＋5,107	＋1,057	▲2,861	＋3,124	▲2,636	▲1,398

＜公募投信の資金純流入の推移（運用会社別）＞



※4　資金純流入・市場要因は、グループ各社の国内投資信託（公募・私募）ベース、うち公募投信はグループ各社の国内公募投資信託（公社債投資信託を含む）ベースの概算値です。集計範囲が連結運用資産残高と異なるため、資金純流入と市場要因の合計は連結残高の増減額とは一致しません。月次推移の各月値も、各月末時点の連結範囲に基づき集計しています。

４．当月の市場環境

	9月末	10月末	騰落率
日経平均株価	66,753.72	63,290.11	▲5.2%
TOPIX	4,108.65	3,965.07	▲3.5%
S&P500	7,651.54	7,580.07	▲0.9%
NASDAQ 総合	26,861.06	25,437.00	▲5.3%
ドル円	157.39	157.52	＋0.1%

10月は、月前半に日経平均株価が7万円台（10月6日終値70,683円98銭）まで上昇した後、AI・半導体関連株の調整と原油高によるインフレ警戒から急落し（10月15日は前日比▲4.9%）、月間では▲5.2%、ＴＯＰＩＸは▲3.5%の下落となりました。米国では米連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を据え置きましたが、月末にかけてハイテク株を中心に売られ、S&P500は月間▲0.9%、NASDAQ総合は▲5.3%の下落となりました。国内では日本銀行が政策金利を1.25%程度に据え置きました。為替は1ドル＝157円台で、前月末比0.1%の円安となりました。

５．当月の主なトピックス

■　ＳＢＩアセットマネジメント：『ＳＢＩ日本高配当株式ファンド』（年4回決算型・年1回決算型）の純資産総額合計が2,500億円を突破（10月6日。2,000億円到達から半年）。こどもNISA専用で信託報酬率0.00%の『ＳＢＩ・ゼロ・オールカントリー・インデックス・ファンド（愛称：ゼロカン）』の設定（2026年11月17日予定）を発表（10月1日）。

■　ＳＢＩ岡三アセットマネジメント：「ゴールドマン・サックス社債/ROBOPRO戦略ファンド2026-10」を120億円で新規設定。「ROBOPROファンド」は、地銀大手の採用が継続し、販社は54社まで増加。「米ドルMMF」は、資金流入が継続し、純資産総額は1,700億円台へ拡大。

■　レオス・キャピタルワークス：当社の株主優待として、15,218名の株主に「ひふみクロスオーバーpro」を贈呈しました。

６．GAM2030ビジョンへの進捗状況

当社は、2027年3月期中の運用資産残高20兆円、2030年3月末の50兆円を目標としております。当月末の連結運用資産残高13.8兆円は、20兆円目標に対して69%、50兆円目標に対して27%の水準です。

（次回開示予定）

2026年11月末の運用資産残高は、2026年12月の5営業日までに開示する予定です。

※本資料に記載の数値は速報値・概算値を含み、集計範囲・集計時点等の相違により、決算関連資料の数値と異なる場合があります。

＊＊＊＊【本件に関するお問い合わせ先】＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社　管理本部　電話:03(6229)0812　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：sbigam@sbiglobalam.co.jp